

華



精華女子高等学校同窓会
第十三号
題字 創設者 吉田マツ先生

ご挨拶

理事長 吉田 幸滋



明治四十二年、初代理事長吉田マツにより創設されました本学園

は、令和七年度に創立百十七年目を迎えることとなりました。これも偏に萬昭子同窓会長様をはじめ同窓会の皆様からの篤い御支援のお陰であります。先ずもって深く感謝申し上げます。

昨年度末、高校から二百九十九名の卒業生、看護専攻科から三十名の修了生を送り出しました。これで女塾以来の卒業生総数は三万五千九十一名となりました。そして新しく令和七年度に、四百十二名の新入生が本校の門を潜りました。生徒にとっても学校にとっても新しい歴史が始まりました。

部活動では、吹奏楽部が昨年度、博多座と大阪の新歌舞伎座の両舞台にて約一カ月の公演となる「新生！熱血ブラバン少女。」で見事な演奏・演技を行いました。また、全日本吹奏楽コンクール、全日本マーチングコンテスト

ともに全国大会で金賞受賞という快挙を成し遂げました。ダンス部は全日本高校ストリートダンスクライマックス、全日本高等学校チームダンス選手権大会の両全国大会に出場しています。バスケボール部は昨年末のウインターカップでの全国三位に続き、令和七年度の高校総体でも全国三位となりました。ともに創部以来の最高成績を収めています。

生徒たちの進路に於いては、前年に続き夫々の目指す大学・短大等や就職先に着実に進んでおります。教育環境の整備に關しましては、近年の夏の猛暑に対処するため講堂や立花寺体育館内に大型空調機を設置し安全対策に取り組んでおります。

今春の入学を迎えて、これぞ全学年生徒がニューモデルの制服を着用することになりました。結びに、本校教職員は今後も建学の精神を真摯に実行継続して参りますことを同窓会の皆様にお誓い申し上げまして御挨拶と致します。

ご挨拶

校長 富田 一大



第六代校長を拝命しております富田と申します。精華なでしこ会の

皆様におかれましては、日頃から母校を温かく見守っていただき心から感謝申し上げます。精華女子高等学校は令和七年度創立百十七年目を迎え、福岡屈指の伝統校としてのプライドを持ちながら、さらなる進化を続けております。

「仏教精神に基づく人格教育」という建学の精神に基づいて「感謝の心」「思いやりの心」を持った人材を育成するという教育方針は堅持しています。皆様が在校時に毎朝唱えられていた「誓約の言葉」は現在の生徒にも引き継がれています。一方で時代とともに変化した部分も多くあります。多様性への対応として「学科・コース」、「制服」、等は幅広く選択できるようになりました。「修学旅行」についても今年度より「国内」か「海外」の自由選択制を導入しました。「国内」については従来の関東地方だけでなく、東北地方での震災学習を加えました。「海外」については生徒の人氣が高い「韓国」で現地の高校生との交流や異文化を多く体験できるプログラムを用意しました。自分の個性に合った選択ができるように配慮することで、生徒の可能性を最大限に伸ばしたいと考えています。

教育環境の整備も進み、昨年度

末に本館体育館並びに立花寺の精華記念体育館にも空調設備が設置され、年間を通して快適な環境の中で教育活動が実施できるようになりました。

進路実績や各種検定試験においても高い合格実績を残していますので学校のホームページ等を是非ご覧ください。また、令和七年二月の看護師国家試験において本校看護専攻科は一〇〇%の合格を果たしています。

部活動においては、バスケット部が昨年末のウインターカップでの全国三位という快挙を成し遂げたのですが、今年七月のインターハイでも準決勝まで勝ち進み、全国三位となりました。バスケット部の魅力的でパワフルな留学生たちの活躍にも目が離せません。吹奏楽部は二年連続で全日本吹奏楽コンクールおよび全日本マーチングコンテストにおいてW金賞を獲得しています。今年度も伝統の精華サウンドを全国の舞台で響かせてくれることでしょう。また、ダンス部も今年度の全国大会への進出が決まっており、活躍が大いに期待されます。

朝から元気な挨拶が飛び交う活気ある雰囲気の中で生徒たちは主体的に高校生活に取り組んでいます。九月二十五日に行われた体育祭も熱気溢れるものとなりました。今後とも精華女子高校に対する熱いご支援をお願い申し上げます。御挨拶いたします。

ご挨拶

同窓会会長 萬 昭子



同窓生の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

やっとコロナが落ち着き、七年振りに令和六年十一月十六日に同窓会総会を開催することができました。

十八歳から九十才までの同窓生が日本各地から集まり、楽しいひと時を過ごさせて頂きました。また、次回同窓会総会の日程も決まりました。令和八年九月十二日（土）オリエンタルホテル福岡博多ステーション（博多駅筑紫口）です。お友達とお誘い合わせの上、是非ご参加下さい。特に、各学年幹事、学級幹事の皆様には同窓会のお手伝いをお願い致したくご連絡申し上げます。どうぞ宜しくお願い致します。

創立百十七年を迎えます我が母校の同窓会が、今後とも永く続きます様祈念してご挨拶と致します。

精華女子高校同窓会
QRコード



ケイタイで読み込むと「ニュース&トピックス」で「華」が閲覧できます。

超える。 今できる最高の演奏・演技を！

吹奏楽部 顧問
櫻内 教昭



二〇二四年の四月、吹奏楽部員達の姿は博多座にありました。皆さんご存じのことと思いますが、昨年度は博多華丸さん主演の「新生！熱血ブラバン少女」の音楽を担当しつつ色々な場面での出演をしました。この公演での経験は生徒達にとって刺激的な毎日だったと思います。また、校長先生役で出演されていた浅野ゆう子さんに大変可愛がって頂き、浅野さんの「推し活」として吹奏楽コンクール・マーチングコンテストの全国大会の応援、そしてなんと大文化祭への飛び入り出演！もされました。そんな二〇二四年も終わり二〇二五年は、キックカットゴールドのCM放映からスタートしました。CMでするので、放送時間は三〇秒程度ですが、なんと撮影場所は精華の校舎です。冒頭の屋上のシーンから始まり、階段、レッスン室などで撮影がありました。もちろんCMで流れる演奏は吹奏楽部の演奏です。この会報誌が皆さんのお手元に届くころにはもうテレビでの放映は終わっています

ますが、YouTubeでは見ることができませんので、まだご覧になっておられない方はぜひチェックしてみてください！そして、今年度は五八名の一年生を迎えました。コロナ禍の時は、全員で九〇名ほどになった時期もありましたが、現在は二年生四〇名三年生四〇名の一三八名で活動しています。今年度に入り、依頼演奏もコロナ禍以前のような回数に戻りました。我々吹奏楽部員にとって、色々な方に演奏を聴いてもらえるのが一番の喜びであり、日々の練習のモチベーションの維持へのつながりにもなります。「良かったよ」とか「一年寿命が延びたよ」と、涙を浮かべながら、感想をお伝えいただくことも大きな励みとなります。最後になりますが、吹奏楽部の今年度のモットーを「超える。」としました。今までの先輩たちを超える、自分の限界を超える、昨日の自分を超える、様々な困難を乗り越える。様々な思いを込めて三年生を中心として決めました。今できる最高の演奏演技をお届けできるように努力し続ける生徒達に、引き続き応援よろしくお願いします！



自分たちの「今」を 届けたい！

ダンス部 顧問
川原田 萌

今年、ダンス部は、Queen☆Beeとして活動を始めて二十年という節目を迎えました。高校時代、私は本校ダンス部の一員として三年間活動しておりました。当時の経験がとても楽しく、充実したものであったことから、今は顧問として、生徒たちが輝ける高校生活を送れるよう、日々の指導に力を注いでいます。指導する立場ではありますが、同じ空間で汗を流し、悩みや喜びを共有するなかで、私自身も生徒と一緒に活動を楽しませてもらっています。

今年、今の生徒たちの想いに寄り添えるような心がけています。今年度も、数々の大会に挑戦してきました。「全日本高等学校チームダンス選手権九州大会」では、大編成部門で三年ぶりの優勝、小編成部門では第四位と健闘し、二部門とも全国大会への出場を果たしました。さらに、全国の高校が集う「マイナビ HIGH SCHOOL DANCE COMPETITION FINAL」は、両国国技館という大舞台に立たせていただきました。

舞台の裏側では、思うように踊れないもどかしさや、仲間とのぶつかり合いに悩むこともあります。それでも、自分たちの「今」を届けたい一心で練習を重ね、本番ではその全力の踊りが会場を感動で包みます。結果が出るたびに、生徒たちの努力が報われたようで、見守るこちらも胸が熱くなります。



そして今年、第十回目となるダンス公演も控えており、本格的に準備が始まりました。練習が厳しくても、「誰かの心に届く踊りをしたい」と願う生徒たちの姿に、私たち指導者も力をもたらしています。私自身、在学中に出会い、教員を志すきっかけとなった育休中の調先生が築き上げてこられたこのダンス部の伝統を、絶やすことなく未来へつなげたいという想いで日々向き合っています。



掲げた目標に向かって 心を一つにして挑戦を!!

バスケットボール部 顧問
大上 晴司

本校バスケットボール部は、二〇二三年度に三年ぶり十五回目となるインターハイ出場、および七回目のウインターカップ出場という貴重な機会をいただきました。全国の舞台で数々の強豪校と対戦し、昨年末のウインターカップでは全国第三位、そして本年七月に開催された岡山インターハイでも全国第三位という結果を収めることができました。このような結果を残すことができたのは、ひとえに日頃よりご支援くださっている学校関係者の皆様、保護者の皆様、後援会をはじめ地域の皆様の温かい励ましとご協力のおかげであり、部員・指導者一同、心より感謝申し上げます。

私たちはまだ発展途上であり、課題も多く、日々の練習や試合の中で多くの学びを重ねています。今大会で得られた成果や喜び以上に、選手たちが仲間を信じ、最後まで諦めずに戦う姿勢こそ、何よりの成長であり、指導する私自身にとっても学ぶべきことの連続でした。今大会の結果は、華やかなものに見えるかもしれませんが、そこに至るまでの積み重ねこそ、最も誇らしい部分であると感じています。

ためて深く御礼申し上げます。これまで得た経験を力に変え、私たちは次なる目標に向かって歩みを進めています。「日本一」という大きな夢は、容易に実現できるものではありません。しかし、そこを目指すからこそ、一日一日の練習に意味があり、仲間とともに歩む時間に価値が生まれると信じています。部員一人ひとりが個人として、そしてチームとして掲げた目標に向かって、心をひとつにして挑戦を続けてまいります。

これからもどうか温かく見守っていただき、ご指導・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



●オリンピック・パラリンピック壮行会●



バスケットボール

林 咲希さん(平成24年度卒業)



令和6年6月にパリオリンピック日本代表 林咲希さん、7月にパリパラオリンピック日本代表 豊田まみ子さんの壮行会が開かれました。世界を舞台にした卒業生の活躍は、在校生と職員に大きな感動を与えてくれました。

林さんは大会への意気込みと共に、苦しいときや困難に出会ったときこそ楽しむ気持ちを大切にしてほしいと語って下さいました。高校時代早朝の自主練習を欠かさなかった林さん。バスケットボール部顧問 大上晴司先生は常に努力家であった林さんのエピソードを紹介しながら、激励の言葉を送られました。林さんの話を聞き、何ごとも前向きに楽しみ、努力を重ねることの大切さを学びました。

豊田さんは久しぶりに訪れた母校で諦めずに夢に向かうことの大切さを伝えて下さいました。当時のバドミントン部顧問 浜司晃先生も足を運んで下さり、豊田さんから大会出場の知らせを受けたときの喜びを語って下さいました。在校生も職員も直向きに夢に向かう豊田さんの姿と浜司先生のあたたかい言葉に胸が熱くなりました。



バドミントン

豊田まみ子さん(平成22年度卒業)
(左: 在籍当時の顧問、浜司 晃先生)



体育部の活動

陸上競技部

顧問 吉川 美羽

その3

日頃より陸上競技部の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。私たちは全国大会出場を目標に日々一生懸命練習に励んでいます。短距離・長距離・跳躍・投擲など多彩な種目に挑戦することができ、一人ひとりが自分の目標を持って、仲間と切磋琢磨しながら今日まで部活動が続けることができました。先日の福岡県高等学校総合体育大会陸上競技対校選手権大会中部ブロック予選会を最後に三年生が引退し、新チームとなりました。二年生の新キャプ

テンを中心に、「楽しく明るく元気よく」をモットーに、これからも日々の練習に励んでいきます。これまでの先輩方や指導者の方から繋がれてきた伝統を今後の代へと渡せるように、学校生活を含め日々の活動に取り組みんでいきます。今後も温かいお声を掛けていただければ幸いです。



今回、陸上競技部・剣道部の紹介をします！



剣道部

顧問 檀 美幸

かつて存在していた剣道部は私が赴任した当時にはすでに姿を消していました。剣道をやりたい」という数名の生徒の声をきっかけに同好会として再始動しました。本校には道場がないため、体育館を他の部と譲り合いながら、限られた環境の中で工夫し、地道に稽古を重ねてきました。

剣道ができる環境に感謝し、剣道部一同、今後も日々精進してまいります。



発足四年目に正式な部となり、現在に至ります。生徒たちは日々の稽古を通して技術の向上だけでなく、礼節や思いやりの心を育み、仲間とともに心身を鍛えて



みなさんのご声援をよろしく願います！

生徒会活動

高校生自転車ヘルメット着用促進リーダーズ

令和五年、福岡県警より自転車ヘルメットの着用モデル校に福岡市内で初めて指定され、生徒会を中心にヘルメット着用啓発活動に取り組んできました。令和六年には県警から「高校生自転車ヘルメット着用促進リーダーズ」に任命され、ヘルメットの着用率向上に向けて校内だけでなく、地域での活動にも積極的に取り組みました。警察や交通安全協会と共に行ったキャンペーンでは、「事故に遭ったときに頭が一番大切。命

を守るためにヘルメットは必要なもの」と呼びかけました。また、高校生らしい発想で「ヘルメットも個性」をテーマにボスターや動画を作成し、「帽子のようにヘルメットもファッション。個性の一部として、多くの人が身に着けるものになってほしい」という思いを伝えました。令和五年四月より自転車に乗る際のヘルメット着用が努力義務となりましたが、当初は多くの生徒たちが消極的でした。生徒会の生徒たちの奮闘を経て、現在ヘルメットの必要性が校内にも浸透しました。現在本校ではヘルメット着用が自転車通学許可の条件となっています。





80歳以上の皆様



次回同窓会開催予定

令和八年九月十二日(土)

(次ページにも案内)

同窓会総会・懇親会

令和六年十二月十六日(土)
於…オリエンタルホテル福岡博多ステーション



県外からの参加の皆様



コロナの影響で二〇一七年以来、七年振りに同窓会総会を開催致しました。
先生方や同窓生の多くの方々にご参加頂き、総会の議事進行もスムーズに進み無事総会を終えることが出来ました。
懇親会では、学校のPR動画をご覧頂きながら、各テーブル、現在の学校の話や思い出話に花が咲いておりました。県外から参加された方々や、80才以上の方々に記念品を贈呈、記念撮影、そして楽しい抽選会や、吹奏楽部の活躍の映像放映、最後に校歌を合唱して賑やかに楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

同窓会入会式 を迎えて

令和六年度卒

渡邊 果歩

本日の精華女子高等学校同窓会入会式にあたり、新入会員を代表してご挨拶申し上げます。

私も三年生二九九名は、三月三日の卒業式を間近に控え、新しい世界への第一歩を踏み出せる喜びで、胸をいっぱいしています。

本校は長い歴史があり、その中の貴重な三年間を過ごせたことを誇りに思い、また、輝かしい伝統のある精華女子高等学校の同窓会会員となることができましたことを、大変嬉しく思っています。

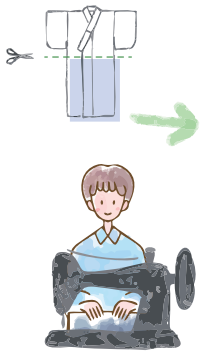
高校生活の中でたくさんの先生方に出会い、人生の基礎を作り上げて下さったことに感謝致しています。

それぞれの道へと歩み行くなかで、本校で学んだことを土台とし、これからも頑張っていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

簡単ではございますが、入会の言葉とさせていただきます。

令和七年三月一日





Kimono Remake

ります。
小さい頃、叔母が編み物をして
いたのを良く見ていました。
糸を巻く時に手伝いながら
「教えてー」とお願いすると「そ
のうねね。」と言われたまま大
きくなり習うことはありませ
んでした。でもその糸を巻く時
の感触がいつまでも心に残って
います。



一九四〇年
生れの八十五
才です。学校
を卒業して
六十七年に
な

私の趣味

昭和三十三年度卒

柴田 亨子

六十才まで働いて仕事を辞め
暇な時間が出来た時、友人から
誘われて着物のリメイクを教え
てもらいました。その残り布で
帽子や袋物を作るようになり、
友達の集まりやシニアの集まり
などがある時は皆様に差し上げ
て来ました。
不器用なので上手ではありません
が、手が動く間は頑張つて
色々作って行きたいと思つて
います。



進学先

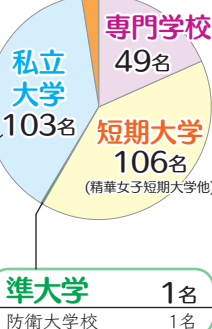
※全員現役合格・延べ数

国公立大学 6名

九州工業大学	1
福岡教育大学	1
釧路公立大学	1
周南公立大学	1
山口東京理科大学	1
北九州市立大学	1

私立大学 103名

立教大学	1
東海大学	3
西南学院大学	11
福岡大学	12
九州産業大学	7
中村学園大学	11
筑紫学園大学	6
立命館アジア太平洋大学	1他



令和6年度 進路状況

就職決定率

16年連続 100%

主な就職先

オンワード樫山、ビックカメラ
ANA FESTA、福岡なべしま、
ジェイアール西日本フードサービスネット、
北九州宗像中央病院、
香椎丘リハビリテーション病院

希望者全員合格

2023・2024年度同窓会記念
事業積立金収支決算報告書
(2023.4.1～2025.3.31)

【収入の部】		(単位: 円)
費 目	決 算 額	
前年度繰越金	3,006,256	
繰 入 金	2,000,000	
受 取 利 息	1,118	
収 入 合 計	5,007,374	

【支出の部】		(単位: 円)
費 目	決 算 額	
寄 付 金	1,468,330	
次 期 繰 越 金	3,539,044	
支 出 合 計	5,007,374	
令和7年度へ繰越金	3,539,044円	

2023・2024年度
同窓会収支決算報告書
(2023.4.1～2025.3.31)

【収入の部】		(単位: 円)
費 目	決 算 額	
前年度繰越金	8,242,905	
同 窓 会 入 会 金	6,958,000	
同窓会総会費	670,000	
受 取 利 息	2,718	
雑 収 入	0	
同窓会積立金取崩収入	0	
収 入 合 計	15,873,623	

【支出の部】		(単位: 円)
費 目	決 算 額	
同 窓 会 総 会 費	965,747	
広 告 費	0	
広 報 費	152,460	
会 議 費	246,588	
校友会部活動後援費	764,743	
役 員 手 当	320,000	
通 信 費	267,272	
印 刷 費	743,160	
事 務 用 品 費	104,939	
交 通 費	681,020	
慶 弔 費	437,862	
雑 費	27,526	
別 途 積 立 金	3,500,000	
交 際 接 待 費	0	
備 品 費	0	
予 備 費	0	
繰越金(現金残高)	179,392	
繰越金(通帳残高)	7,482,914	
支 出 合 計	15,873,623	
令和7年度へ繰越金 (現金・通帳残高合計)	7,662,306円	

2023・2024年度同窓会室
積立金収支決算報告書
(2023.4.1～2025.3.31)

【収入の部】		(単位: 円)
費 目	決 算 額	
前年度繰越金	4,713,927	
繰 入 金	1,500,000	
受け取り利息	2,499	
収 入 合 計	6,216,426	

【支出の部】		(単位: 円)
費 目	決 算 額	
次 期 繰 越 金	6,216,426	
支 出 合 計	6,216,426	
令和7年度へ繰越金	6,216,426円	

以上、決算報告いたします。

令和7年7月12日 精華女子高等学校同窓会 会 長 萬 昭子
副会長 梅津由美子
会 計 野田由貴子
監査の結果 相違なきことを認めます。
令和7年7月12日 精華女子高等学校同窓会 監 査 久保 弘子
財部 絹子

— 同窓会のお知らせ —

2026年9月12日(土)13:00～

会場/オリエンタルホテル福岡博多ステーション

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

編集後記

今回も先輩や後輩達の活躍や
活動に感動しながら制作に携わ
らせて頂きました。
皆様のご協力のもと完成する
ことが出来ました事、心より感
謝し厚く御礼申し上げます。

◆ご注意◆

学校や同窓会の名を使って依
頼等の電話があるようですが、
同窓会からのお願いは必ず文書
で行い、電話で行う事は一切あ
りません。

発行 精華女子高等学校同窓会
住所 福岡市博多区住吉四十九一
電話 (〇九二) 四三二一四三四
印刷 株式会社インテックス福岡